

2026年1月31日

長野県感染対策研究会
代表世話人 花岡正幸
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 内田美咲

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2025年12月データについての報告～
(データ集計日：2026年1月31日 集計対象施設数：61施設)

2025年12月のVRSA、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでしたが、東信地区で1株、VREが分離されています。前回、5月に分離された時と同一施設になります。上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

<MRSAの分離状況について>

長野県全体の分離率は5.57%でした。JANISでの全国の実績は5.99%（2024年1月～12月年報）です。先月、南信地区で顕著な増加が見られましたが、今月は減少しました。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は0.04%で、東信地区と中信地区で1株ずつ分離されています。JANISでの全国の実績は0.02%（2024年1月～12月年報）です。なお、1例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡しております。

<第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は2.85%で、すべての地区で分離率が減少しました。JANISにおける全国の実績は4.06%（2024年1月～12月年報）となっています。JANISで2015年集計分より用いられている第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡しております。

耐性菌検出検査やSICSSデータ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

【SICSSのデータを用いた学術活動について】

SICSSのデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

問い合わせ先
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 名取 達矢
TEL; 0263-37-3493、 e-mail; ntrtty@shinshu-u.ac.jp